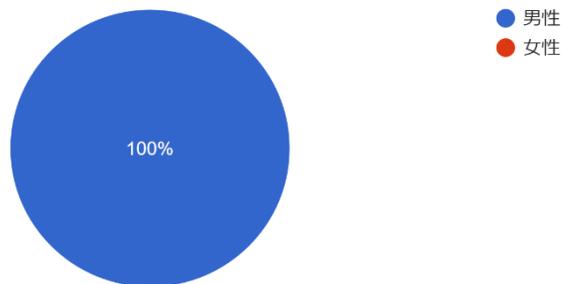


対話イン東京都市大学 2022 事後アンケート結果

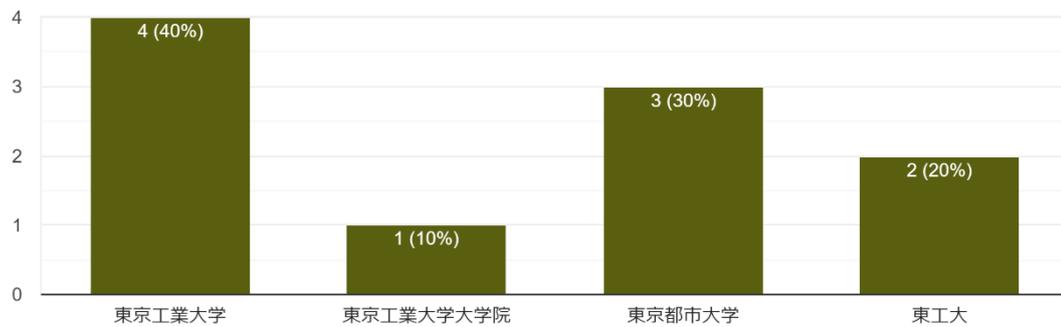
2022.12.3
世話役 早野睦彦

参加学生 12 名中 10 名の学生が回答した。
以下は回答結果の概要である。

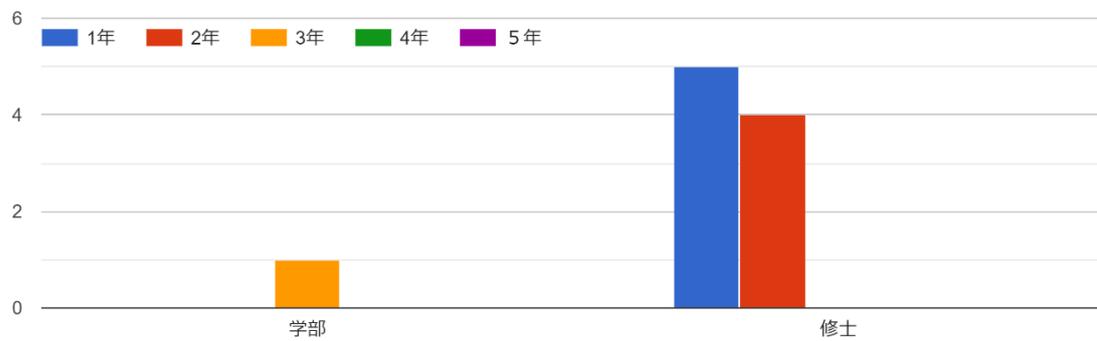
まず、あなた自身について伺います
10 件の回答



大学・高専名
10 件の回答

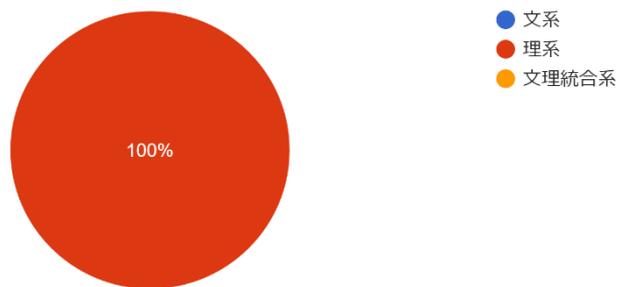


学位



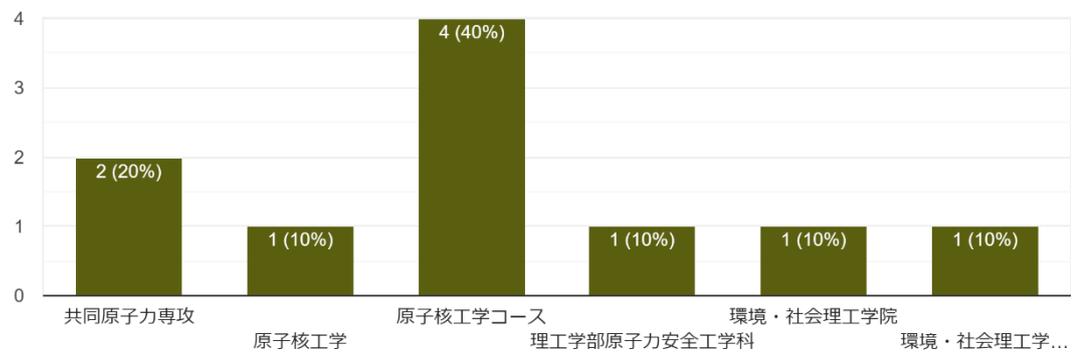
専攻

10件の回答

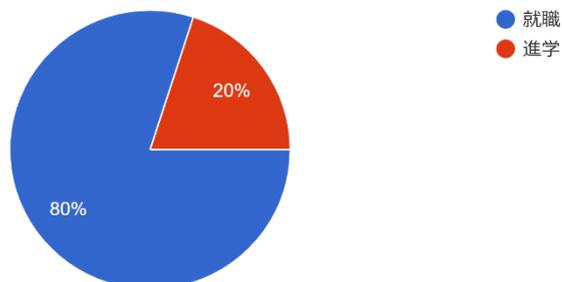


専攻名

10件の回答



進路
10件の回答



希望先・分野

9件の回答

JAEA・加速器や廃止措置関連

核セキュリティ、保証措置

粒子加速器,イオン源

三菱重工株式会社様 ハザード設計業務など上流設計に携わりたいと考えています。

技術系

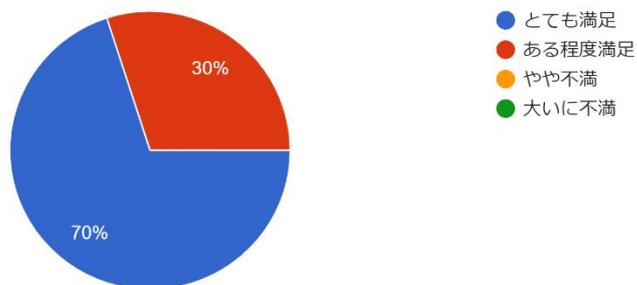
電力

インフラ

院進

株式会社三菱総合研究所(入社予定)

今回の対話会の満足度（講演も含む）
10件の回答



理由

8件の回答

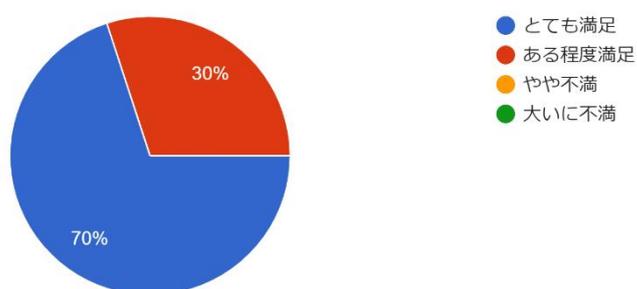
- ・初めて対話会に参加したが、知らない内容や疑問点を解決することが出来た点
- ・講演については後述の通りであり、学生からの質問への真摯なご回答、それらを踏まえての対話会は非常に濃密なものだと感じたため。体系的な知識・経験を持つシニアの方々とそ

れらを持たない学生が対話する経験は貴重だと実感できたため。

- ・本音ベースでお話ししていただいたため
- ・プラントの海外輸出や SMR について新たな知見を得られたから。
- ・気になっていたことが聞けた
- ・将来の原子力利用について改めて考えるきっかけになった。
- ・原子力業界に長くかかわってきた人たちから話を聞くことが出来たから。
- ・自分にはない知見を持った人達との交流の機会が出来てとても面白かったため

講演の内容は満足度

10 件の回答



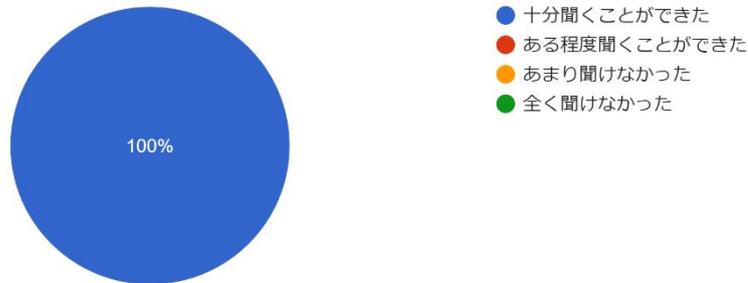
理由

8 件の回答

- ・現在の状況を踏まえて様々なことを知ることが出来た
- ・私は学部生から原子力を専攻しているが、修士から原子力を専攻し始める多くの同期の東工大生にぜひ受けてもらいたいと思える内容であったため。また、以前に温暖化とファイナンス効果の内容の講義を受けたことがあり、それと比べた際に原子力・エネルギー関連の全体像およびコスト算出によるファイナンス的な観点をここまで網羅している内容は少なく、大変感動したため。
- ・専門的な内容をわかりやすく教えてくださりとても良かったです。
- ・講演の密度が濃く、大変ためになりました。
- ・上記の通り。
- ・自分の知らない情報を知ることができた。
- ・今まで知りえなかったことを知ることが出来たから。そして、とても分かりやすかったから。
- ・最近のエネルギー事情から原子力業界にまつわることまで網羅的かつ体系的に学ぶことが出来た。また、最新の情報や国がエネルギーに対して施策を打った際のその背景まで教えてくださったためインプットしやすかった。

事前に聞きたいと思ったことを聞けましたか

10件の回答



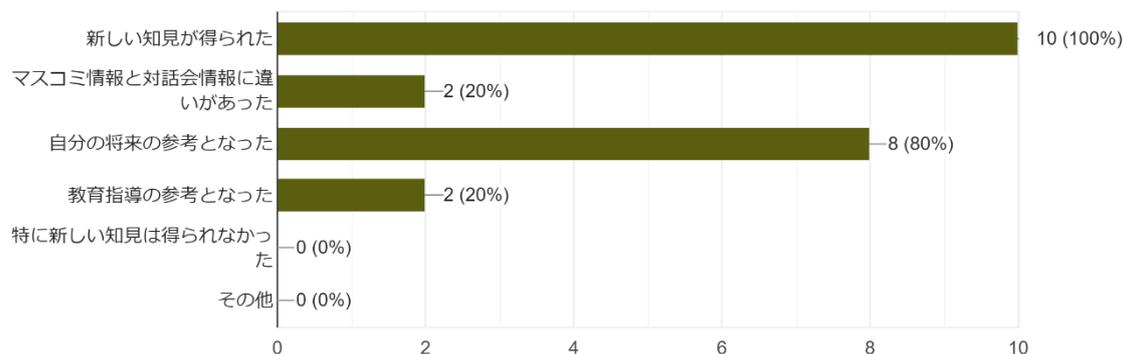
理由

6件の回答

- ・疑問点を解消することができた
- ・コロナ禍でお聞きする機会を逃していた学部生から疑問に思っていた内容をお聞きしたり、それについて議論を深めることができたため。事前に質問へのご回答をいただいていたため全体で共通認識があり、追加でお聞きしたり、深めることが容易であったため。
- ・大野様から事前質問の内容についてより詳しい内容をお聞きできとても良かったです。
- ・事前に頂いた回答集に沿って対話を進める事ができたから。
- ・自分が感じていた疑問点に対して、細かく教えてくださったから。
- ・的を得た情報を提供していただいたため

今回の対話で得られたことは何ですか？（複数回答可）

10件の回答



対話で得られたことの具体例を記載ください

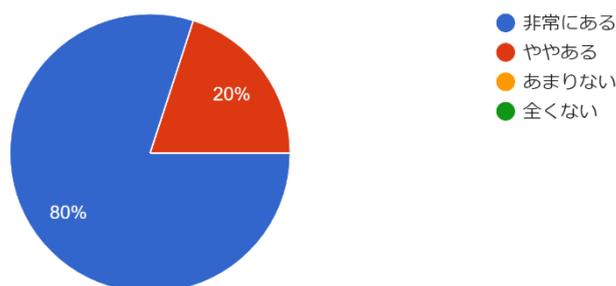
8件の回答

- ・エネルギー基本計画や再稼働に関しての知見を深めることが出来た
- ・日本から原子力を輸出する難しさとその対策の議論
- ・世界における PWR の普及率の高さの理由
- ・核のゴミ問題の長期化と原子力推進は分けて考える重要性
- ・人材確保のための

実経験の必要性 ・2050 年へ向けての炉の高寿命化と新設の必要性

- ・原子力は未来のエネルギーであるため、若い世代に伝えていくのが非常に重要であると感じました。
- ・業界の裏話など
- ・プラントの海外輸出を進める上での障壁。SMR の開発。三菱重工業のプラント開発に関して、かなり詳しく知れた。
- ・核廃棄物最終処分場などの検討の進め方が国ごとに抱えている事情によって異なっているということ。
- ・①現行軽水炉の負荷追従運転の利点と欠点についてよく知れたこと。②地層処分の際に問題となる、どこまでの危険性を考えるのか、との範囲についての考え方を知れたこと。
- ・世界各国の放射性廃棄物処理施設の現状や SMR の現状と普及への課題など、普段インプットできない情報を網羅的に学ぶことが出来た。

「学生とシニアの対話」の必要性について
10 件の回答



必要性の理由

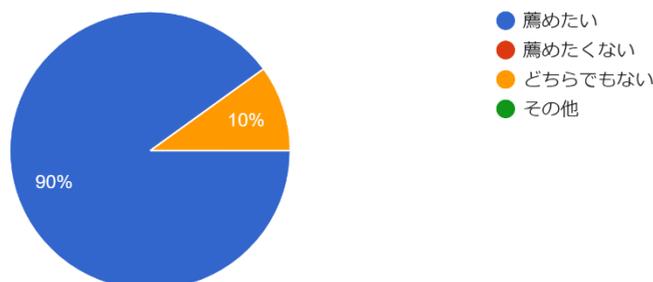
7 件の回答

- ・過去の状況や最新の内容を知ることが出来た
- ・一般的には物事を広く見る際に体系的な知識・経験が必要な場合が多いが、それらを持たないが次の世代である学生がそれらを持つシニアの方々の力をお借りすることで、学生間だけでは深めることができないレベル感の議論を行えると実感したため。学生間では出てこないような業界の常識、シニアの方々の信念に触れることが学生にとって貴重な経験だと思うため。
- ・シニアの方々から実際にどのような経験があったのか教えていただき大変参考になりました。
- ・教科書やインターネットには掲載されていない、生の声が聞けたから。事前に質問募集をして各学生の興味で振り分けた事で私にとって非常に有益な対話となった。
- ・原子力の時代を作り上げてきた方々の意見を聞き、これからの日本のエネルギー問題に関して真剣に考える必要があると思った。
- ・個人といたしましては今まで知らなかったことを知れる貴重な機会なので重要と感じるから。なにせ、日本の原子力開発の今までの流れを見てきた人なのだから。

・一般的に原子力業界にいる人がどういったキャリアを歩んでいるのか、どのような考えを持っているのか触れる機会がないため、こういった対話会の開催意義は非常に大きいと思うから

今後機会があれば友達や後輩に対話会を薦めたいですか

10件の回答



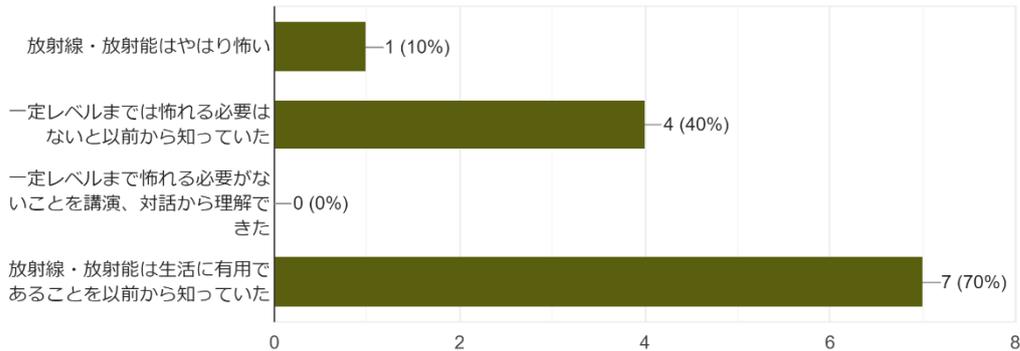
上記設問の回答の理由

7件の回答

- ・原子力の在り方を考えるきっかけとなるため
- ・原子力分野は修士過程から学び始める方が多いので、このような対話会を通して原子力の全体像を把握でき、かつ疑問を解消できる機会であり、講義・質問・対話の一連の流れで必ず以後に受ける大学の授業の理解度が変わると考えるため。一連の対話会は通常の座学以上の学習効果があると感じたため。世論形成において重要となる原子力について考える方を増やしていくことが必要であり、単純にその方法の一つであると考えたため。
- ・本音ベースでざっくばらんに話せるため。
- ・私としては満足しているので、後輩に勧めたいと思った。
- ・有意義な時間だと思ったから。
- ・原子力・放射線利用について興味を持っている人にとっては、非常に好奇心を満たすものと感じるから。
- ・もっと多くの人に交流をして知見や様々なキャリアを知ってほしいから

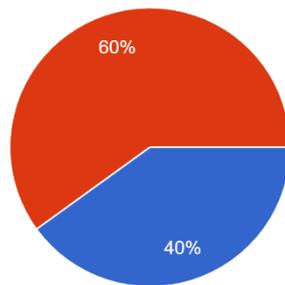
放射線・放射能について伺います（複数回答可）

10件の回答



原子力発電について伺います

10件の回答



- 原子力発電の必要性を強く認識した。削減または撤退すべきではない
- 原子力発電の必要性は分かっていたので認識は変わらなかった
- 原子力発電の必要性は分かるがやはり危ないから早期に削減または撤退すべきだ
- 原子力発電を止め再生可能エネルギーを最大限使えばよい
- どうすればよいかよく分からない

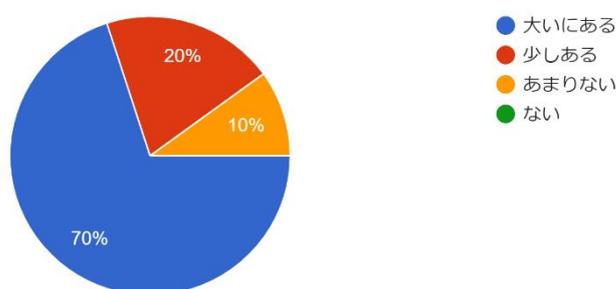
上記設問の回答理由をお書きください

7件の回答

- ・電力の安定供給やコスト面で重要なため
- ・感情論を抜きにすると、そもそもウクライナ情勢問題の勃発以前やカーボンニュートラル達成を前提にしようがしまいが、日本において政治・経済・軍事的な客観的な観点から原子力の構成割合をある程度高めておく必要性は議論の余地はないと考えている。加えて講演でも触れられたように、カーボンニュートラルを踏まえると、再エネ割合を高めていくことには限界点があり、より一層 原子力の必要性が際立っている。その一方で、民主主義の日本においてはエネルギー源の選択は民意であるべきとも考えているため、民意として大変な道であっても原子力を選択しないということは認めるべきだと考えている。ただし、メディアなどの影響もあり、現状は真の意味で民意に選択肢があるとも思えないので、理想としては一部の方々だけでも各国民のエネルギー源を選択するということを認識でき、かつ原子力を使用する際に万が一の事故が起こることも腹を括れるようなリテラシーが必要かと思っている。今回は原子力の必要性について、より確信的になった。
- ・原子力工学コース出身なので必要性やすべきであると思っていました。

- ・カーボンフリー、エネルギーリスク分散のため。
- ・人口が多く資源の少ない日本にとって原子力発電を維持することは重要であり、原子力に関する技術力の高さを維持していかなければ世界で日本の役目がなくなってしまう恐れがあるため。
- ・国民の電気代の負担や二酸化炭素排出量の抑制を考えると必要となるものと感じるので。
- ・やはり経済性の観点から国の施策に切っても切り離せないものであるという考えを持っているから

以下からカーボンニュートラルとエネルギーについて伺います
10件の回答



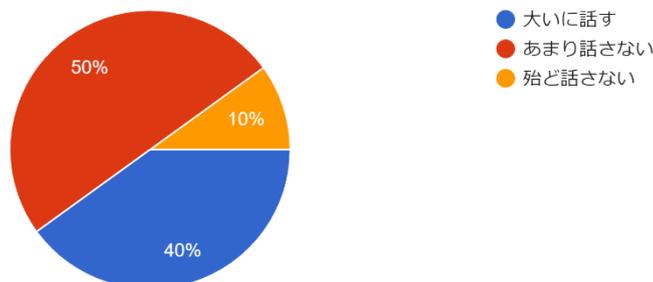
上記設問の回答理由

7件の回答

- ・電力の供給は重要であるから
- ・地球温暖化やゼロカーボンの効果には疑問もあるが、政治・経済的な観点からこれらを見捨てることは事実上できないと考えられるため、流れを見捨てることはできないのであれば既定路線として考えざるを得ないと思うため。仮にこれらが事実でないとしても、イノベーションの起爆剤となると考えられ、他分野に応用できないかと考えることに意味があると思っているため。
- ・我々の世代に重くのしかかる問題であると考えたためです。
- ・勉強を進める上で興味、関心を持った。
- ・技術大国である日本が世界に取り残されてはならないと思ったため。
- ・将来生きていくにあたり過酷な時代を生きるのを避けたいと考えるから、環境問題に多いに興味関心があります。
- ・そもそも原子力発電に興味があり、原子力発電が脱炭素に十分に貢献できるとわかったため興味を持ち、学んでいる

友人同士で温暖化や脱炭素社会を話題にしますか

10件の回答



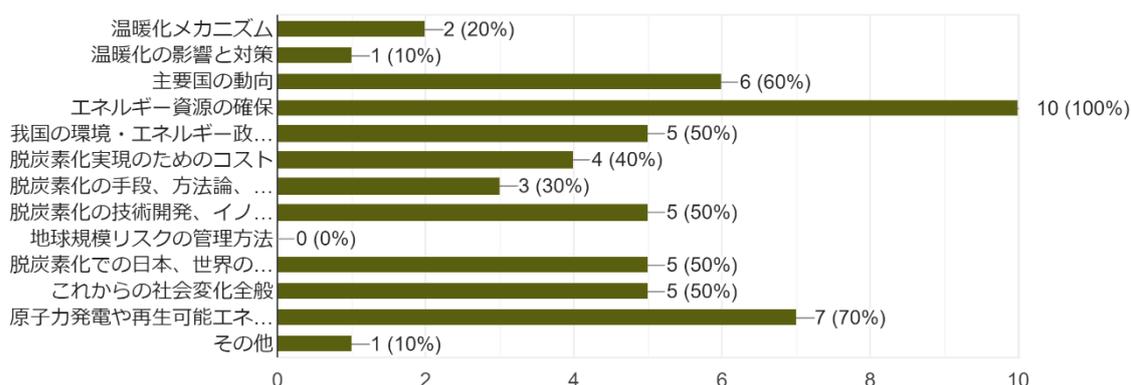
上記設問の回答理由

7件の回答

- ・あまり話題にならない
- ・専攻がこれらの背景含まれていることもあり機会が多い。個人的にも様々な情報に触れるべきだと考えているため。
- ・原子力工学コース所属であるのでよく話します。
- ・研究室内で喋る程度だから
- ・ほぼ直接的にエネルギーに関わる分野を専攻しているため。
- ・友人と環境問題や社会問題を話すことはつまらないと感じるから、話さない。
- ・どのようにすれば2050年CN達成が出来るのか気になるから

興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）

10件の回答



その他の場合具体的にお書きください

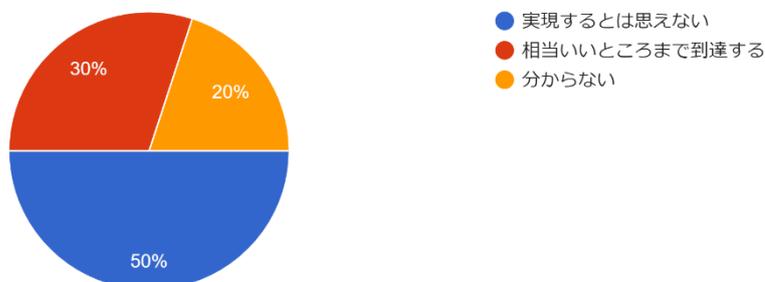
2件の回答

- ・資源の現物ベースと資金的な話(数字的な) 実質と形式で乖離はないのか
- ・エネルギー政策は電力需要に依存するので、将来の国内の電力需要は、どの程度変動す

るのかについて。

日本の2050年脱炭素化社会の実現可能性についての見解をお尋ねします

10件の回答



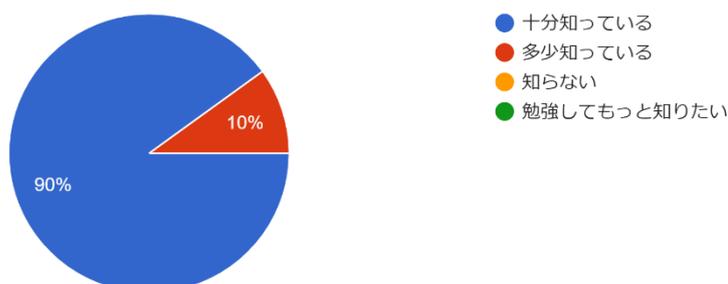
上記設問の回答理由

7件の回答

- ・再エネを重要視しているため
- ・現時点では達成できないと考えられるが、蓄電技術の急速な発展によっては達成する可能性はあると思うので、正確には現時点では判断できないと考えるため。
- ・再エネだけではなくより多くの原発が必要になると思います
- ・企業努力だけでは限界があるのでは？国民の関心が薄い。
- ・エネルギーに関しては、日本の気候などによる問題が多く再生可能エネルギーで賄えるようになるとは考えにくく、原子力発電の割合を福島事故以前の程度まで上げていくのも難しいので、火力発電がなくなるとは考えにくいから。
- ・現在の電源構成的に厳しいと感じるから。
- ・現状エネルギー基本計画などには発電比率として再エネや原子力について何%導入するといった目標を掲げているが、それだけでは不十分だと思う。なぜなら、もっと定量的な何W級のものを何基立てるといった具体的な目標を掲げないことには原子力や再エネを取り巻くサプライチェーンが積極的に動くことが出来ないため

地球温暖化対策のための脱炭素達成には、これか...重要ですがあなたはこのことを知っていますか？

10件の回答



本企画を通して全体の感想・意見などあれば自由に記載ください

4 件の回答

- ・シニアとの会話をする事ができ、日本の置かれている状況と世界の動向を知ることができ、大変満足であった

- ・対話の際にシニアの方々の話が少し多くなってしまいう部分もあり、後半戦が特に対話となった印象があります。

おそらく質問関係や逆質問の回答を最初の部分で行わざるを得ないためと考えています。

可能であれば、3パート構成ぐらいにするとバランスがよくなるかと思いました。

私としては知らない知識や経験をお話から聞いたので大変満足しておりますが、対話を主に考えている学生さんもいると思うので、念のため記入いたしました。

- ・今回の企画・イベントに参加できてとても楽しかったです。

- ・とても楽しく、将来的にも使える知識を蓄えることができとてもいい経験になりました。

また、シニアの方々の意見や原子力に対する価値観も聞くことが出来たため自分自身の価値観形成にも非常に役立ちました。就職してからも原子力分野に携わるとするため、国の政策や制度をより良くするために積極的に行動を起こしていきたいと思います。